

# 情報システムに係る新元号対応状況に関するチェックリスト

## 【はじめに】

- ・情報システムの新元号対応には、自組織の状況に応じた検討が必要となり、大小様々な作業が必要となる可能性があります。本チェックリストは、新元号に対応する際、共通的、基礎的に検討しておく必要がある作業について確認することを目的に作成しています。
- ・なお、情報システムには、サーバでの処理を実行するプログラムやデータベースだけではなく、帳票、端末にインストールされているクライアントソフトやパッケージソフト、システム間連携に用いるデータを含みます。
- ・確認の必要がない項目においても、今後の必要な対応について記載されているので、ご一読いただき、今後の作業のチェック項目としてご活用ください。

## 1. 和暦の使用状況について

1.1	自組織の情報システムにおいて、和暦が用いられている部分を調査・確認できていますか。	
1.2	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査に際しては、OSやオフィスソフト等の基本ソフトのアップデートによる影響等も考慮していますか。また、アップデートスケジュールを確認できていますか。	
1.3	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査に際しては、自組織内の情報システム間、又は自組織外の情報システム間のデータ連携等を考慮し、用いられるデータフォーマット(CSV, XLS, XML, JSON, PDF等)や連携処理に、元号の変更に影響される部分が含まれているか、確認できていますか。	
1.4	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査・確認の結果、改修等の対応は必要ですか。	

## 2. 改修等の対応の内容について 【以降(2.~4.)は、1.4で①を回答している場合全部、②を回答している場合は★が記載されている設問について確認してください。】

※なお、1.4で④を回答している場合も、今後の必要な対応について記載されているので、ご一読いただき、今後の作業のチェック項目としてご活用ください。

2.1	各情報システムにおいて、必要となる改修等の対応の内容や改修等が必要となる範囲について、具体的に明らかにできていますか。 次の3つの観点でお答えください。	
	A 情報システムのプログラム、データベース、端末に関して必要な対応	
	B 帳票や画面の修正等の対応	
	C 他組織の情報システムとの連携において必要な対応	
2.2	特に他組織の情報システムとデータ連携している場合(例えば受発注システムでのEDI(電子的データ交換)システムを利用している場合など)においては、新元号で送付して良いのか、旧元号のまま送付すべきか等、自組織のみで決定できない要因を含むため、対応の内容や作業計画等の立案・確定に際しては、他組織の情報システムとの連携の実施状況を踏まえた、十分な検討、確認、調整などが必要となる場合があります。これらの実施状況についてご教示ください。	

2.3	他組織の情報システムとのデータ連携において、改元後も旧元号を使用し続けますか。改元後も旧元号を一定期間使用し続ける場合、その後の継続についての見直しについてご教示ください。	
2.4★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 改修等の対応が必要となる情報システムの数を記入してください。(半角英数)	
2.5	改修等の作業の内容は、使用している情報システムの構造や保守性によって大きく異なります。予め、元号の変更等の外的要因による改修作業の範囲や内容を最小化できるよう設計しているなど、元号の変更による改修等の対応の作業規模や難しさについて、どのような状況と考えていますか。	
2.6★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 改修等の対応の実施スケジュールについて、作業計画等を立案・確定できていますか。	
2.7★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 作業計画においては、5月1日までに(業務開始日等が5月1日以降となる場合は当該開始日等までに)すべての対応が完了し、同日から、新元号を使用して業務等を実施できるようになっていますか。	
2.8	相当程度の規模の改修を伴う場合、新元号の発表前において、仮の文字を使用した対応が必要となる場合があります。作業計画等の立案において、これを考慮できていますか。	
<b>3. テスト、確認作業について</b>		
3.1★	【2.6で①又は②を回答している場合】 改修等の対応の作業の実施結果についてテスト等の作業の内容の確定、また、その作業の実施スケジュール等の作業計画等の立案・確定はできていますか。	
3.2★	【2.6で①又は②を回答している場合】 テストの作業計画等の立案・確定に際して、他組織の情報システムとのテスト等の作業の実施スケジュール等を十分に確認できていますか。	
<b>4. 5月1日までに対応が完了しない場合について</b>		
4.1★	【2.7において、②又は③を回答している場合】 対応が間に合わない場合における、情報システムの連携先との調整や代替措置について、検討し、業務の遂行に際して問題がないことを確認できていますか。	
4.2★	【2.7において、②又は③を回答している場合】 5月1日以降、いつまでに、どのような作業を実施し、改修等の対応を完了することとなっているか、作業計画等の立案・確定ができていますか。	

## 選択リスト

- 1.1 ①調査・確認が完了しており、自組織の情報システムの和暦を使用している部分を特定できている。
  - ②調査・確認が完了しており、自組織の情報システムでは、和暦を使用していないことがわかっている。
  - ③調査・確認作業の最中である（部分的に完了している場合を含む）。
  - ④今後、調査・確認を行っていく。
- 1.2 ①アップデートによる影響を考慮して調査しており、特段の影響はないことがわかっている。
  - ②アップデートによる影響を考慮して調査しており、影響があるため、アップデートスケジュールを確認、注視している。
  - ③アップデートによる影響を考慮していなかったため、今後実施する。
- 1.3 ①連携について考慮して調査しており、交換するデータや処理に元号の変更に影響される部分があることを確認している。
  - ②連携について考慮して調査しており、交換するデータや処理に元号の変更に影響される部分がないことを確認している。
  - ③連携について影響を考慮していなかったため、今後実施する。
  - ④自組織にシステム間でデータ連携等を行う情報システムはない。
- 1.4 ①自組織の情報システムの改修を伴う対応が必要である。
  - ②和暦を使用しているが、導入しているパッケージ製品のアップデート等、軽微な対応でよい。
  - ③改修等の対応は必要ない。
  - ④和暦が用いられている部分についての調査・確認は完了しているが、改修等の必要性については、今後判断していく。
- 2.1 ①全て又はほとんどの情報システムで具体化し、新元号発表前の作業（仮の2文字の元号でのテストなど）まで完了している。
  - ②全て又はほとんどの情報システムで具体化し、確定しており、今後、作業に着手する予定である（作業実施中を含む）。
  - ③一部の情報システムで具体化し、確定しているが、確定作業中の情報システムもある。
  - ④全て又はほとんどの情報システムにおいて作業中である。
- 2.2 ①連携の相手方の対応方針等を確認しており、自組織の対応について十分に検討や調整を行っている。
  - ②連携の相手方の対応方針等を確認している最中であり、自組織の対応については、検討中である。
  - ③今後、連携の相手方の対応方針等を確認する予定である。
  - ④連携に用いるデータは、元号の変更によって影響される部分を含んでいない。
  - ⑤他組織の情報システムと連携等を行っていない。
- 2.3 ①改元後も旧元号を使用するが、終了時期は明確である。
  - ②改元後も旧元号を使用するが、終了時期は未定である。
  - ③改元後も旧元号を使用するかどうかについては、検討中である。
  - ④改元後は旧元号を使用する予定はない。
- 2.5 ①保守性に配慮された情報システムが多く、改修範囲や作業量は限定的である。
  - ②保守性に乏しい情報システムが多く、改修範囲や作業量が多い。
  - ③複雑な情報システム、大規模な情報システム自体がなく、作業量は限定的である。
  - ④画面や帳票に和暦を使用している箇所が多く、複雑な作業はないが、確認に必要な作業量などが多い。
  - ⑤改修範囲や作業量が検討できておらず、今後これらについて検討を行っていく。
- 2.6 ①全て又はほとんどの情報システムで作業計画等を立案・確定できている。
  - ②一部の情報システムで作業計画等を立案・確定しているが、作業中の情報システムもある。
  - ③全て又はほとんどの情報システムにおいて作業中である。
- 2.7 ①全て又はほとんどの情報システムが5月1日又は業務開始日等までに対応できる予定である。
  - ②5月1日又は業務開始日等までに対応できない情報システムが一部ある。
  - ③5月1日又は業務開始日等までに対応できない情報システムが数多くある。
  - ④全体的に業務の遂行に大きな影響はないことから、5月1日以降に対応する予定である。
- 2.8 ①考慮した作業計画等を立案しており、新元号発表の前の作業を明らかにできている。
  - ②作業量が小さいなどの理由から、新元号発表の前の作業をすることなく対応可能である。
  - ③考慮していなかったため、今後、新元号発表の前に作業が必要かどうか検討する予定である。
- 3.1 ①作業計画等において、具体的なテスト内容や実施スケジュールを確定している。
  - ②現時点の作業計画等において明らかになっていないため、今後、検討する予定である。
- 3.2 ①考慮して作業計画等を立案しており、連携に係るテストの実施スケジュールが確定している。
  - ②考慮して作業計画等を立案しており、連携に係るテストの実施スケジュールは確認等の作業の最中である。
  - ③考慮して作業計画等を立案しているが、連携に係るテストは不要である。
  - ④考慮していなかったため、今後、検討する予定である。
  - ⑤他組織の情報システムと連携等を行っていない。
- 4.1 ①対応できないと見込まれる全て又はほとんどの情報システムにおいて検討を行っており、代替措置の実施などにより、業務への影響を最小限とする予定である。
  - ②対応できないと見込まれる全て又はほとんどの情報システムにおいて検討を行った結果、業務の遂行に際しては特段の支障はないと考えている。
  - ③全て又は一部の情報システムにおいて検討が完了しておらず、作業中である。
- 4.2 ①全て又はほとんどの情報システムで作業計画等を立案・確定できている。
  - ②一部の情報システムで作業計画等を立案・確定しているが、作業中の情報システムもある。
  - ③全て又はほとんどの情報システムにおいて作業中である。